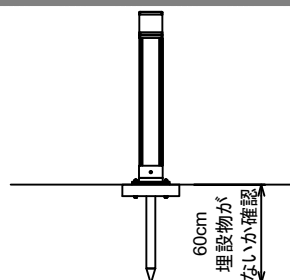


施工説明書・取扱説明書

このたびは、ソーラーLED「ラヨビア用乾式基礎」をお買い上げくださりまして有難うございました。
下記の説明書をよくご覧の上、正しく施工を行ってください。また、ご使用前にこの説明書を必ずお読みの上、
正しくお使いください。

■施工上の注意事項

- ・設置する場所の深さ60cm以内に埋設物がないか確認した後に設置を行ってください。
- ・地盤が弱いと設置したラヨビアが揺れたり転倒する恐れがあります。
事前に設置する場所が杭を保持できる十分な地盤強さを有しているか、
ラヨビア設置後には大きな揺れが発生しないか確認を行ってください。
- ・コンクリート平板は天端まで土に埋めるように設置を行ってください。
- ・コンクリート平板を落としたり、叩いたりして衝撃を与えないでください。
- ・ボルト類の締め付けは全て確実に行ってください。
- ・付属の部品以外は使用しないでください。
- ・設置後、ボルト類のゆるみやガタつきなどがなければ点検を行ってください。

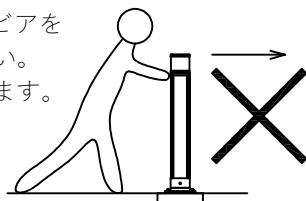


■使用上の注意事項

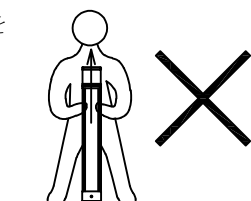
- ・揺れや転倒を抑制する製品であり、完全に防ぐ物ではありません。
設置基準に満たない場所で使用しないでください。
- ・設置する地盤により時間がたつにつれ、揺れなどが発生しやすくなる場合があります。
継続的な点検をお願いいたします。
- ・ラヨビア専用の乾式基礎となりますのでその他製品には使用しないでください。
- ・ラヨビアは付属しておりません。別途購入をお願いします。

■安全上の注意事項

- ・乾式基礎を使用して設置したラヨビアを
押ししたり引いたりしないでください。
転倒しケガにつながる恐れがあります。

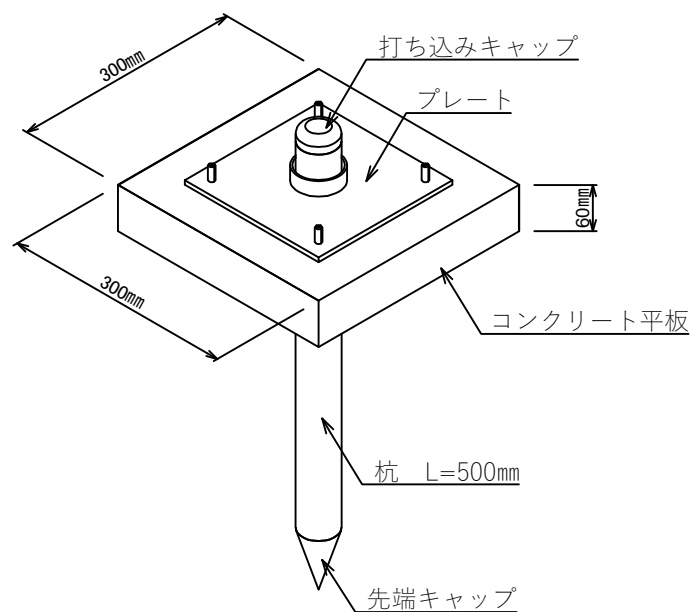


- ・乾式基礎を使用して設置したラヨビアを
抜こうとしないでください。
ケガにつながる恐れがあります。



- ・隙間に手や足を入れしないでください。
- ・コンクリート平板を強い力で叩いたりするなどして、衝撃を与えないでください。割れる恐れがあります。
- ・人災、天災、地変、その他不可抗力による滑動や転倒、引き抜きによって生じるトラブルについては当社で責任を負うことができません。
- ・ゆるい地盤では、風や地震等の外力でラヨビアが滑動、転倒する可能性が高くなり、そのことによって生じるトラブルについては当社で責任を負うことができません。
- ・強い振動、衝撃のあるところ、強度が必要な場所などで使用しないでください。

■姿図



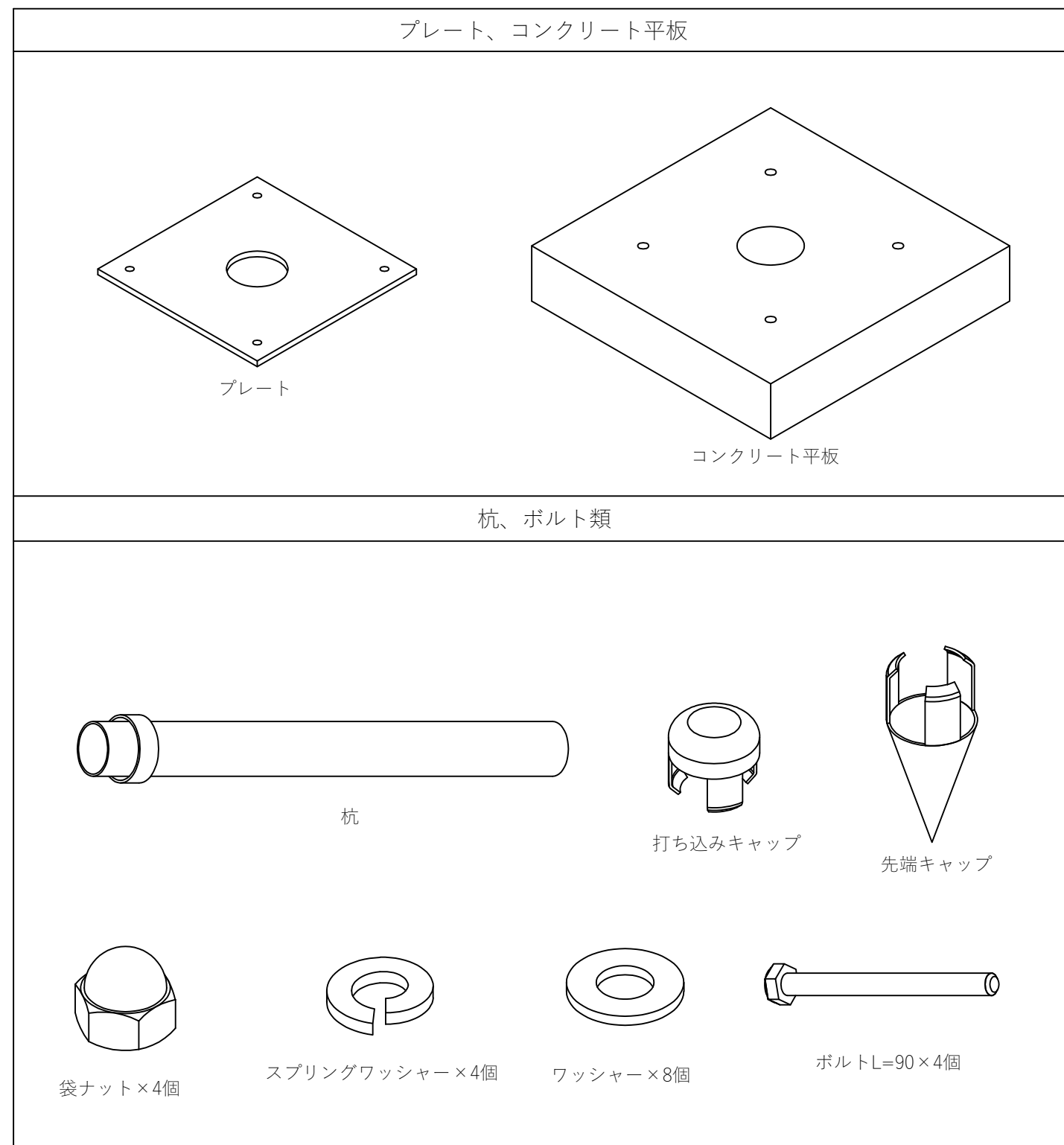
■部材一覧

- 開封時に種類と数量の確認を行ってください。
(ボルト類の袋内容も確認を行ってください。)
- 商品に異常がないか確認を行ってください。

ご準備いただくもの

- M8用レンチまたはスパナ
- スケール
- 掘削できるもの
- 石頭ハンマーまたはカケヤなど杭を打ち込めるもの
- 砕石
- 転圧機など砕石の締固めを行えるもの
- +ドライバー (ラヨビアボルトゆるみ確認用)

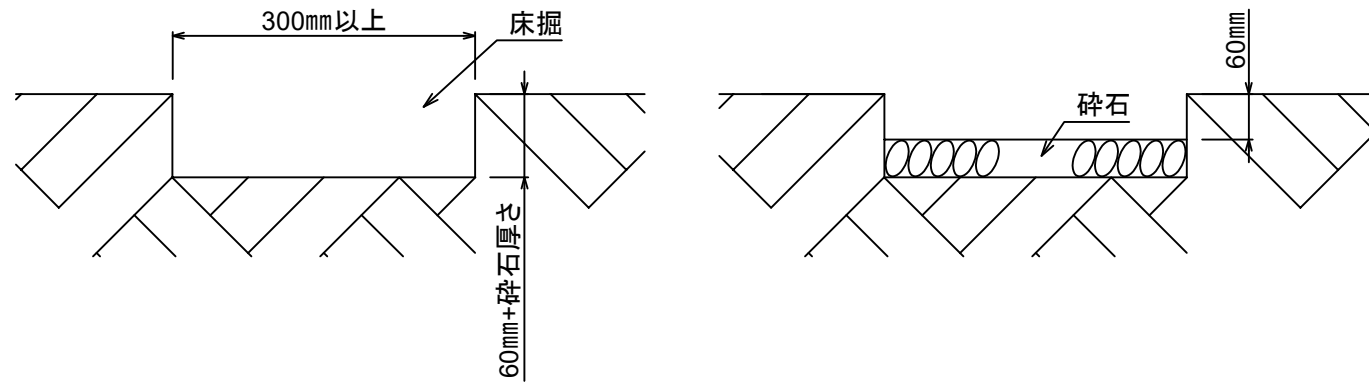
■梱包内容 (ラヨビア用乾式基礎)



■施工手順

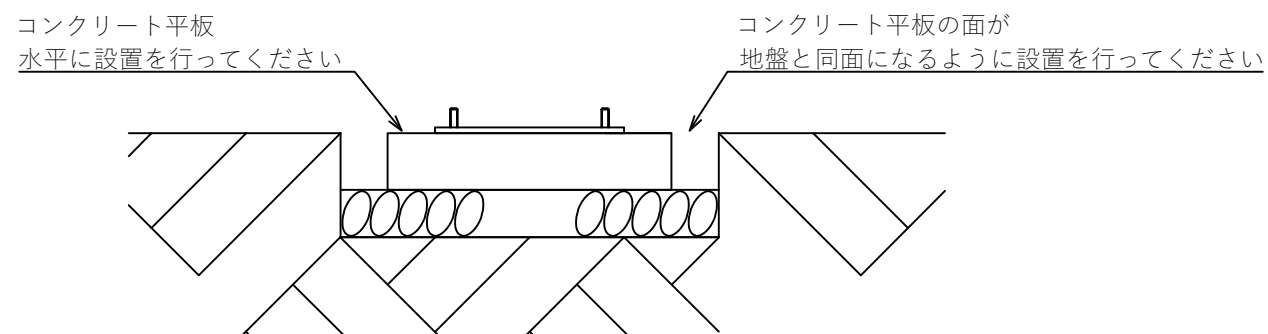
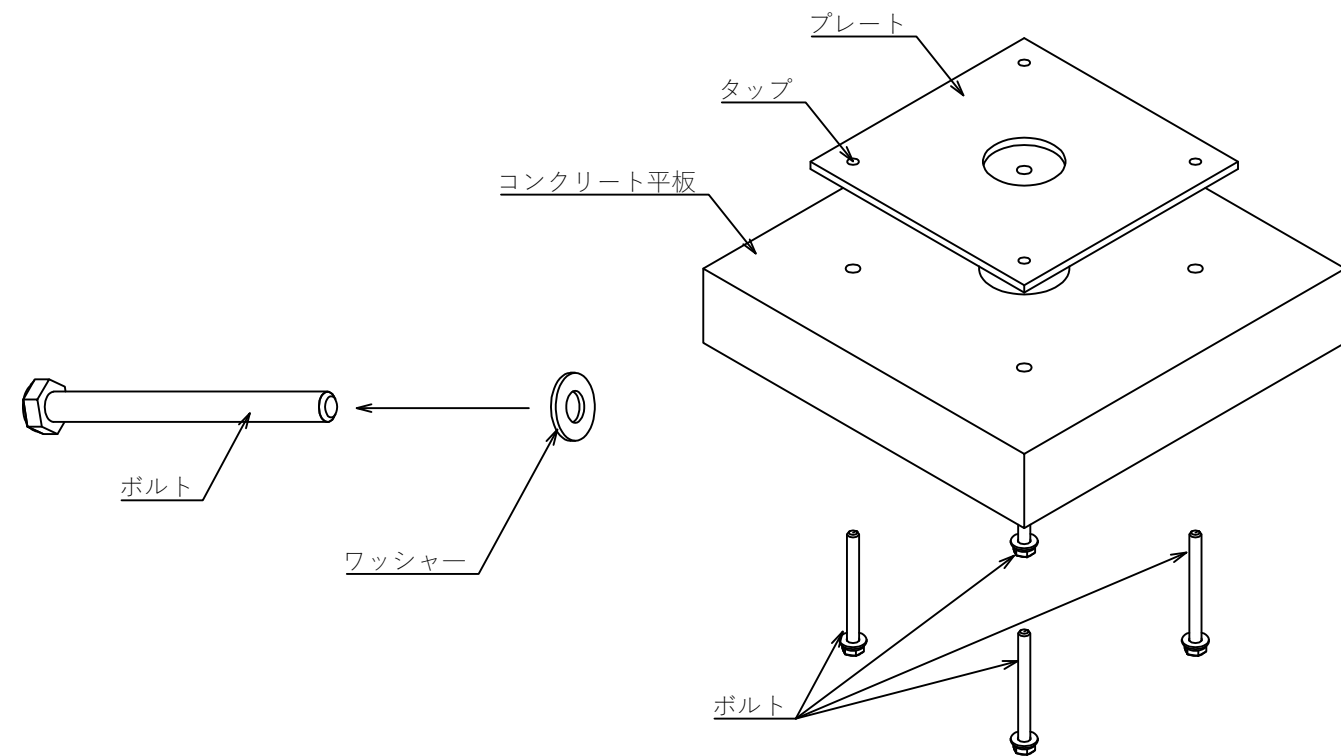
手順1 床掘、砕石設置

- 施工を行う前に設置場所深さ60cm以内に埋設物がないか確認を行ってください。埋設物があると施工できません。
- 設置する砕石幅深さより妥当な範囲で床掘を行ってください。
- その後砕石を設置し締め固めを行ってください。



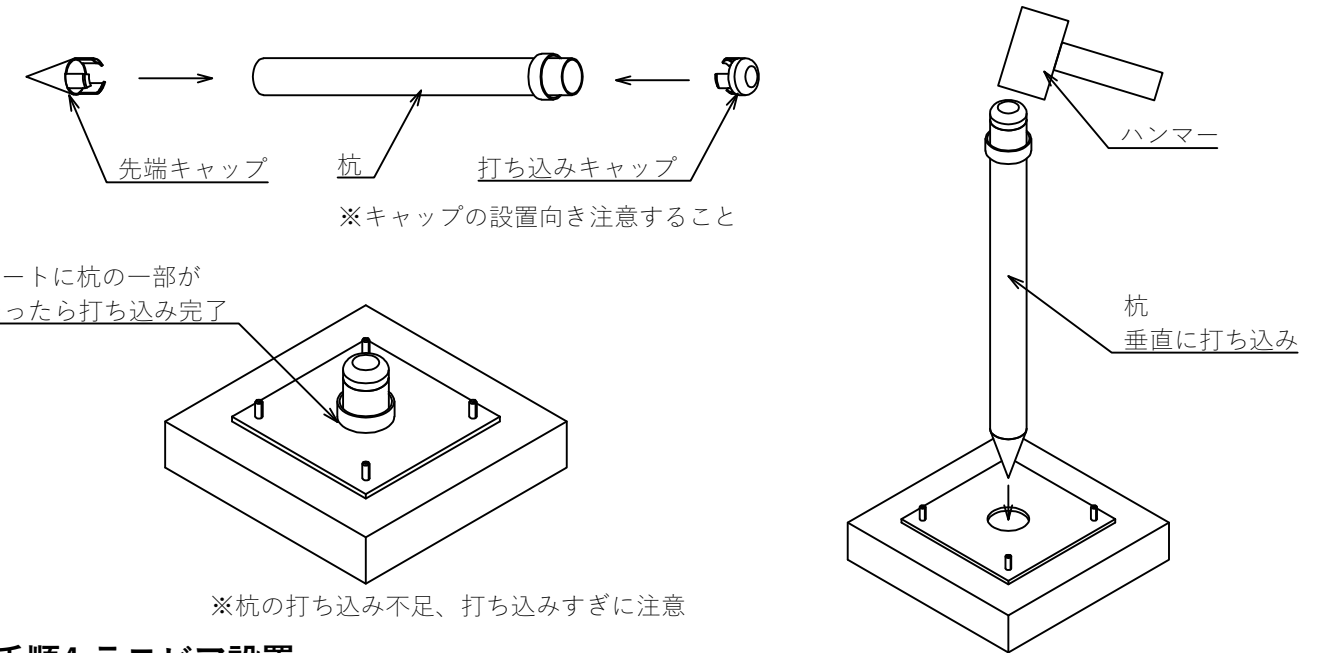
手順2 コンクリート平板設置

- ボルトにスプリングワッシャー、ワッシャーの順で通してください。
- コンクリート平板とプレートと同梱しているボルト、ワッシャーで結合してください。
- プレートを結合したコンクリート平板を砕石の中央に水平となるように設置を行ってください。
※ボルトは最後まで締め付けてください。



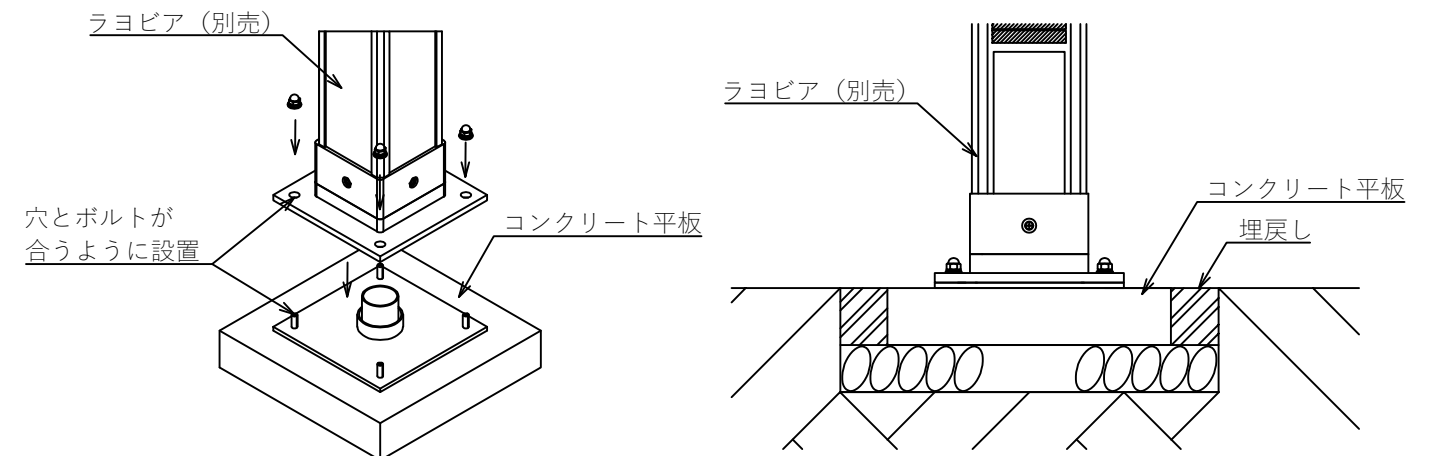
手順3 杭打ち込み設置

- 杭に打ち込みキャップ、先端キャップの装着を行ってください。
※打ち込みキャップは必ず装着してください。打ち込み部分がつぶれラヨビアが入らなくなる恐れがあります。
先端キャップは設置しなくても打ち込み可能となります。
- コンクリート平板中央に空いている穴に杭を差し、垂直にとなるように杭を打ち込んでください。
誤って手や膝をハンマーで叩かないように注意してください。骨折などのケガにつながる恐れがあります。
- 杭がプレートに当たるまで打ち込んでください。杭がプレートに当たったら打ち込みをやめてください。
※隙間が空いていると揺れる原因となり、打ち込みすぎるとコンクリート平板の割れにつながります。



手順4 ラヨビア設置

- コンクリート平板から出ているボルトとラヨビア（別売）のベースプレートに空いている穴を合わせて設置を行ってください。
- ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順でラヨビアベースプレートから出ているボルトを締めてください。
- コンクリート平板周辺の埋戻しを行ってください。



手順5 ナット等ゆるみおよび揺れや抜けの確認

- 設置した袋ナットやラヨビアに設置してあるボルトに緩みがないか、再度確認を行ってください。
- 設置したラヨビアが簡単に抜けないか、大きく揺れることはないか確認を行ってください。
※強く揺らしたり、持ち上げようとすると揺れが発生したり、抜ける恐れがありますので注意してください。

●お問合せ

 **フクビ化学工業株式会社**

事業開発本部 まちづくり事業推進室
〒140-8516 東京都品川区大井1丁目23番3号
TEL : 03-5742-6321
MAIL : gksgs@fukuvi.co.jp